

大学図書館問題研究会第43回全国大会シンポジウム
情報ライブラリーを「伝える」には



**(一財)大阪府男女共同参画推進財団
木下みゆき**

2012. 8. 6

内 容

はじめに～自己紹介 ほか～

1. ドーンセンターについて
2. 私たちにとっての経営層とは？
3. 何をどのように「伝える」のか
4. どんなライブラリーをめざすのか



1. ドーンセンターについて

- 1994年11月オープン
- 男女共同参画社会を実現するための拠点施設
- 年間利用者 約33万人
(1日平均約1,130人)
- 「事業」「相談」「**情報**」の3つの柱



- 運営は大阪府男女共同参画推進財団
- 2006年3月 大阪府から指定管理者に指定 *施設管理(貸館)業務
- 2009年4月 大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更
- 2010年2月 市場化テスト
(公募型プロポーザル方式)
- 2010年4月 受託業務開始 *ソフト部分

大阪府

事業委託

指定管理者の指定



(一財)大阪府男女共同参画推進財団

啓発学習
文化表現など
さまざまな事業

相談事業

情報
事業

ドーン事業共同体

(財)大阪府男女共同参画推進財団
(財)大阪府青少年活動推進財団
NPO法人DIVE

施設管理や貸館業務

入館者数 年間約33万人

●2つのホームページ

- 大阪府立男女共同参画・青少年センター

<http://www.dawncenter.or.jp/>

- (一財)大阪府男女共同参画推進財団

<http://www.ogef.jp/>



2. 私たちにとっての経営層とは？

- 1)財団幹部
- 2)理事・評議員
- 3)大阪府
- 4)東大阪市
- 5)様々な事業委託先
- 6)府民・市民



3. 何をどのように「伝える」のか

- 1) 総花的ではなく、ポイントを絞る
- 2) 強みを前面に
- 3) ストーリーをつくる
- 4) 他部署の機能と関連づける



(例)1

**～公共図書館との差別化をはかり
一層の専門図書館化～**

『2011 Year's Report』事業ピックアップ より



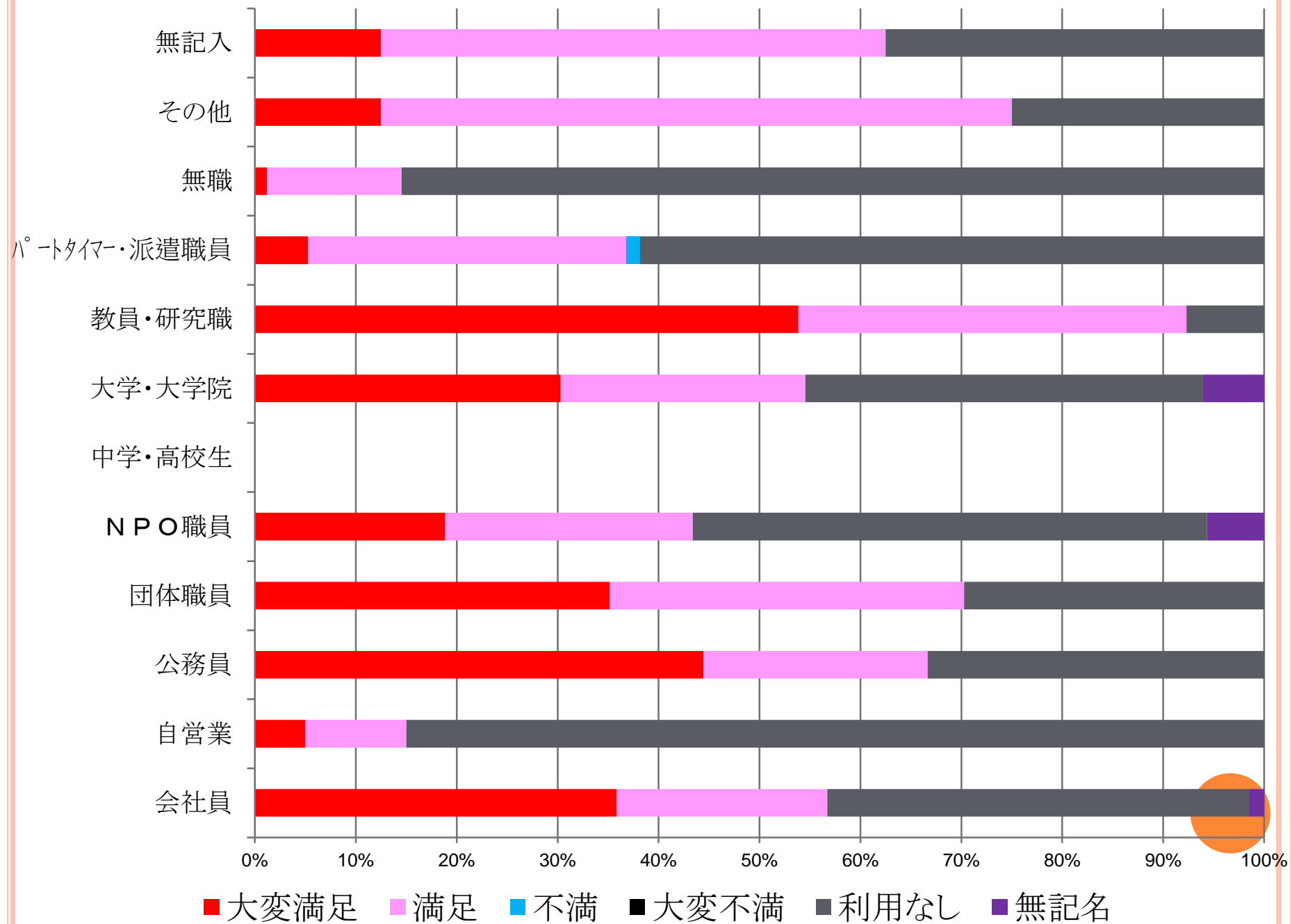
＜重点的な取り組み＞

- ①最適な情報の収集と整理、
データベース化
- ②指導的立場の方々への専門的な
情報相談
- ③ライブラリー機能を活用した
プログラムの実施



- 来館者アンケートの結果
 - ⇒ 「専門図書館としての機能」に評価
 - * 情報相談満足度：職業別





(例)2

～「情報」「相談」「啓発」事業の連携～

『2011 Year's Report』事業ピックアップ より



1) 多様な自主事業をリンクさせた総合的 事業展開

- 【情報】×【啓発】×【各種自主事業】
- 【キャリア塾】×【情報】
- 『Women Pioneers』×【情報】



2)ドーンセンター施設機能を活かした 事業展開

- 【女性芸術劇場】×【情報】
×【ドーンセンター】
- 【シングルマザーを対象とした職業訓練】
×【情報】×【相談】×【啓発】
×【ドーンセンター】



4. どんなライブラリーをめざすのか

* 事業のコンセプト

- 1) ドーンセンター事業との連携
- 2) 男女共同参画関連の課題解決支援
- 3) 他機関との連携・アウトリーチ

⇒ 専門的情報ニーズに応える

アクティブなライブラリー

